

吉野川市

議会だより



夏の笑顔
みつけた!



吉野川市公式キャラクター
ヨッピー・ピッピー



議会 HP は
こちらから確認!

令和8年6月議会定例会

議長・副議長就任あいさつ	2
代表質問	7
個人質問	11
政務活動費収支報告	15

議長あいさつ



議長
谷田 憲二

このたび6月議会定例会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、第22代議長に就任いたしました。その職責の重さに、身が引き締まる思いであると同時に、本市の

さらなる発展と市民福祉の向上に向けて、全力を尽くす決意を新たにしております。現在、地方自治体を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化への対応、多発する自然災害への備え、地域経済の活性化など、多くの喫緊の課題に直面しています。こうした転換期だからこそ、市民の皆様が多様な声を真摯に受け止め、市政への的確に反映させる「身近で開かれた議会」の実現が不可欠であります。公正で透明性の高い議論

を尽くし、行政との健全な緊張関係を保ちながら、積極的な政策提言を行ってまいります。そして、誰もが安心して心豊かに暮らせる、活力に満ちた吉野川市の未来を皆様と共に切り拓いていく所存です。皆様におかれましては、今後とも市議会に対するより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

副議長あいさつ



副議長
中西 涉

このたび、副議長の職をお預かりいたしました。谷田議長と一体となり、

市民の皆様の声をお聴きし、誠実で透明性のある議会運営に努めてまいります。私は、鴨島町知恵島で生まれ育ち、PTA活動や児童クラブの運営、学校評議員として地域の皆様と共に歩んでまいりました。その経験から、議会は市民の皆様との信頼と対話の上に成り立つものと確信しております。

今後も、地域の声をしっかりと受け止め、その思いを市政に反映させることが、副議長としての責務と考えています。市民の皆様とのつながりを大切にしながら、より開かれた、市民に親しみやすい、議会を目指してまいります。皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

会派構成

◎代表
◎副代表
☆経理責任者

吉野川政友会いろは

芳藍麻植会

◎福岡正
○阿佐勝彦
☆戸出敏夫

◎近久寛
○☆藤原一正

☆中戸出敏夫
○山側紗矢香

公明党
相原一永

薫風会

日本共産党

◎枝澤幹太
○細井英輔
☆岸田益雄

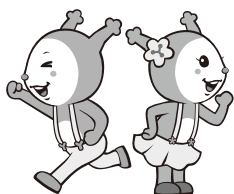
岡田光男

真誠会

議会運営監査委員

◎田村修司
○菊川充憲
☆谷田憲二
衆原五男

岸田益雄



常任委員会

市の事務を3つの委員会に分け、その調査・議案・請願などについて審査を行います。

総務常任委員会

市の総合戦略・財政戦略・統計・防災・防犯・交通安全・財産・契約・市税・住民情報管理・消費生活・環境衛生などのほか、他の常任委員会の所管に属さない事項

◎菊川充憲 ○細井英輔 中西 渉 山側紗矢香 田村修司 岡田光男

文教厚生常任委員会

子育て支援・保健衛生・福祉・介護保険・学校教育・学校施設の管理・社会教育・文化財・生涯学習・公民館の管理・スポーツ推進・スポーツ施設の管理・図書館など

◎塩田智子 ○近久 寛 戸出敏夫 岸田益雄 阿佐勝彦 谷田憲二

産業建設常任委員会

農業・林業・地籍調査・商工業・観光・道路や河川の管理・都市計画・市営住宅・建築・水道・下水道など

◎相原一永 ○藤原一正 枝澤幹太 福岡 正 栁原五男

議会運営委員会

スムーズな議会の運営を行うため、定例会の日程や議会のルールなどを決めます。議会の運営、会議規則、委員会条例、議長の諮問に関する事項などを話し合います。

◎枝澤幹太 ○戸出敏夫 塩田智子 菊川充憲 近久 寛 相原一永

特別委員会

特に必要があるときは、議会の議決で特別委員会をおくことができます。

議会広報特別委員会

年4回議会だよりの編集と発行を行います。

◎岡田光男 ○山側紗矢香 岸田益雄 阿佐勝彦 栁原五男 近久 寛



令和8年6月議会定例会

議案の審議結果

付託先の略称

- 即 決…本会議で審議
- 総 務…総務常任委員会で審議
- 文教厚生…文教厚生常任委員会で審議
- 産業建設…産業建設常任委員会で審議



	付託先	議 案 名	結 果
選 挙	—	議長選挙について	投票
	—	副議長選挙について	投票
	—	徳島中央広域連合議会の議員選出について	指名推選
	—	阿北火葬場管理組合議会の議員選出について	指名推選
	—	阿北特別養護老人ホーム組合議会の議員選出について	指名推選
報 告	即決	令和7年度吉野川市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
	即決	令和7年度吉野川市水道事業会計予算繰越計算書について	報告
	即決	令和7年度吉野川市下水道事業会計予算繰越計算書について	報告
専 決	総務	専決処分の承認を求めることについて (吉野川市税条例の一部を改正する条例)	承認
	総務	専決処分の承認を求めることについて (吉野川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
	総務	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度吉野川市一般会計補正予算(第8号))	承認
	即決	専決処分の報告について(和解について)	報告
	即決	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)	報告
	即決	放棄した権利の報告について	報告
条 例	総務	吉野川市印鑑登録条例及び吉野川市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	文教厚生	吉野川市石原勝一教育振興基金条例を廃止する条例制定について	原案可決
	産業建設	吉野川市上水道給水条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
そ の 他	総・文	令和8年度吉野川市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
	文教厚生	令和8年度吉野川市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
	総務	吉野川市庁舎非常用発電設備等更新及び防災倉庫棟増築工事のうち建築工事(担い手確保型)請負契約の締結について	原案可決
	総務	財産の取得について(吉野川市消防団小型動力ポンプ付積載車)	原案可決
	産業建設	市道路線の廃止について	原案可決

委員会審査

3つの常任委員会において付託された議案の審査を行いました。

主な審査内容を抜粋して掲載しています。審議結果の一覧は4ページをご確認ください。

総務常任委員会

◇市長提出議案7件を審査

●令和8年度吉野川市一般会計補正予算(第1号)について

問 消防団詰所の老朽化の状況と建て替えや大規模改修の予定は。

答 合併後、多くの消防団詰所が老朽化していたことから、鴨島、川島、美郷地区の改修を平成24年から平成28年にかけて順次行った。山川地区についても耐震基準を満たしていない詰所の改築を進め、令和8年度は、山川第3分団と第4分団の改築に伴う予算を計上しており、他の詰所も分団と協議を重ねながら随時改築を進めていきたい。

問 今回の改築に合わせて消防用資機材や備蓄用品について見直しや更新を行う予定があるのか。また、建物だけではなく、

く、消防拠点としての機能向上が図れるか。

答 今回の工事は、老朽化した詰所を改築するものであるため、消防用資機材や備蓄用品は現状のものを継続活用していくが、この度の改築で新しい耐震基準を満たし、機能性や利便性も向上するため、安心して使用できる施設となる。

文教厚生常任委員会

◇市長提出議案6件を審査

●令和8年度吉野川市一般会計補正予算(第1号)について

問 生活保護費の追加給付について、財源及び給付世帯の内訳は。また、廃止世帯はどのように特定するのか。

答 追加給付する生活扶助費は、国費3906万円、一般財源1302万円。地方負担分は、普通交付税で措置されることとなっている。

給付対象840世帯の内訳は、保護受給中の世帯が500世帯、保護廃止世帯が340世帯を見込んでいる。また、保護廃止世帯の方は、その当時に保護を受けてい

た市町村に申出する必要がある、申出者に対し審査を行い、該当者に給付を行っていく。

問 市内小中学校への防犯力メラ設置状況と今後の財源の確保は。

答 小学校は10校のうち5校に、中学校は4校全てに設置している。児童生徒玄関、職員玄関、通用口および自転車置き場などに不審者対策や児童生徒の見守りなどを目的として設置している。今後の財源確保については、県の学校安全総合支援事業の活用はもとより、その他有利な財源の研究などを進めていく。



市内中学校に設置している防犯カメラ
(モニター確認の様子)

産業建設常任委員会

◇市長提出議案2件を審査

●吉野川市上水道給水条例の一部

を改正する条例制定について

問 標準的な水量を使用する一般家庭で1か月の使用料金がどの程度増えるのか。

答 □径13ミリで1か月の使用水量が20立方メートルの場合、現行料金は2500円で、令和9年2月使用分から令和10年1月使用分までは、現行料金から370円増の2870円となる。令和10年2月使用分から令和11年1月使用分までは、現行料金から870円増の3370円となり、令和11年2月使用分以降は、現行料金から1370円増の3870円となる。

問 今回、水道料金の改定を行えば、今後10年間は改定しなくても大丈夫なのか。

答 合理化や効率化による経費削減を図るとともに、決算時や当初予算編成時において、経営戦略の投資財政計画と決算額などの乖離状況などについて確認・評価を行うことにより、健全な経営を確保できるよう努め、改定後の料金水準をできるだけ長く維持できるよう努める。

ここが聞きたい

一般質問

誌面の都合により要旨のみを掲載しています。
●の質問を中心に取り上げました。

6月議会定例会では9名の議員が一般質問を行いました。

代表質問

阿 佐 勝 彦（吉野川政友会いろは）

- 新たに副市長を迎え今後の市政運営方針について
- 北海道仁木町との交流について
- 新生・鴨島中学校に込める思いは
- 水道料金改定について
- 新ごみ処理施設の運営状況について
- 雑草管理について
- 放課後児童クラブ運営支援について

菊 川 充 憲（真誠会）

- 企業誘致について
- 公共施設の適正配置とスリム化について
- 職員の防災士取得について
- 学校給食について
- 樹木倒木被害について

岸 田 益 雄（薫風会）

- 財政状況について
- 火葬業務のあり方について
- 吉野川医療センターについて
- Mt. 高越ヒルクライムレースについて
- 道路損傷通報システムについて
- 下水道管の点検について
- 統合後の教育環境について

近 久 寛（芳藍麻植会）

- ふるさと住民登録制度を活用した関係人口の拡大について
- 「FC徳島」との連携協定の成果について

個人質問

山 側 紗矢香

- 避難所における女性・子どもの安全確保と防災備蓄について
- 学校における主権者教育と議会の関わりについて
- がん患者への医療用補正具（アピアランスケア）助成制度について

桑 原 五 男

- ふるさと納税について
- 商店街活性化について
- 子育て施策について
- 中学校統合の進捗状況について
- 学校体育館へのエアコン整備について
- 偽メールについて
- 太陽光パネル設置状況について
- 商工団体への補助金配分適正化について
- 水道料金の改定について

戸 出 敏 夫

- 農業後継者不足対策と支援について
- 部活動などにおける移動中の事故防止対策について
- 出産祝金の増額について

相 原 一 永

- 医療・介護・行政の連携体制強化について
- 災害時における妊産婦・乳幼児の安全確保と「母子専用避難所」の整備について
- 英語教育の充実について

塩 田 智 子

- 5歳児健康診査の開始について
- こども性暴力防止法（日本版DBS）について

吉野川政友会いろは

阿佐勝彦



問

水道料金の改定に至るまでの経営努力、また、今後の見通しは

答

民間への業務委託、人員削減、迅速な漏水調査に取り組み、今後は収益的収支の黒字化を目指す

問

水道料金の引き上げについて、今日までのような取り組み、経営努力を行ってきたのか。県内の各自治体と比べて、低料金で運営してきたことについて、判断が甘すぎた、遅すぎたのではないかと。料金改定を行うことで今後の見通しはどうなるのか。

答

これまでの経営努力として、民間事業者による業務委託を行い、上下水道使用料金徴収を行ってきた。民間ならではのノウハウを活用することで収納率の向上と安定化を実現でき、人員の削減にも取り組んできた。漏水調査も実施し、水道水の無駄を抑え、運転経費の削減に努めた。しかし、漏水箇所は増加している状況で、抜本的な解決には至っていない。

料金改定後は、令和5年度からの純損失を解消できる見込みであり、今後は施設や管路の更新を着実に進め、引き続き水道

問

水の安定供給に努める。

料金改定に伴い、激変緩和措置として財政支援を行うが、上水道に頼らず、単独で飲料水を確保している家庭についてサポートも必要ではないのか。

答

今回の財政支援は、公共インフラ維持管理として、事業運営の安定化を図る目的で行うものである。

【その他の質問】

問

雑草管理について、市内のあらゆる方面で対応に苦慮している。通学路や散歩道の路面を覆い、太陽光発電設置の土地から農作物のある畑へ雑草が侵入している。また、雑草が繁茂した耕作放棄地から飛散する花粉、害虫などの被害もある。これまでボランティアの方や自治会で対応していたが、高齢化により対応が難しくなっている。雑草管理の対応に向け、

更なる財源も検討すべきと思うが、市の考えは。

答

民間所有の空き地、耕作放棄地などの農地については、土地所有者などに対し文書を通じて除草など適正管理を依頼し、必要に応じて複数回の通知や現地での改善指導を行っている。

市道の沿道法面などについては、市の直営作業のほか、業者委託による草刈りを行っている。今後も、効率的な維持管理手法の検討や財源確保に努め安全で安心な地域づくりを進める。

問

北海道仁木町との交流再開に向けた小中学校との交流事業、産業振興や地域活性化、市民が参加できる交流などの進捗状況は。

答

交流再開に向けて、事務レベルでの協議を開始したところである。

小中学校の交流事業について

は、以前、オンラインでの児童間交流学習をきっかけに、仁木町の子どもたちが本市を訪問され、郷土愛を育む貴重な機会となった。人と人のつながりが重要であり、今後も地域間の学校交流や、オンラインを活用したコミュニケーションなど、双方の子どもたちが成長できる取り組みを検討する。

産業振興や地域活性化について、仁木町は果樹生産の中心地として、高品質の農産品ブランド産地である。一方、本市は野菜を中心に農業が盛んであり、伝統工芸、歴史的な観光資源を有している。今後、方向性や交流の意義を確認しながら双方にとってどのような交流が望ましいのかを検討し、多くの市民が参加できる幅広い交流を促していく。





菊川 憲
きく かわ
みつ のり
真誠会

問

鴨島東中学校跡地の利活用に企業誘致する考えは

答

鴨島東中学校跡地を含め、市長が先頭に立って、企業誘致を推進していく

問

本市では20年もの間、新たな企業誘致が停滞して

おり、これまでの跡地利用は福祉や公共施設が中心であった。深刻な人口減少を食い止めるためには「税収」と「雇用」を生む産業拠点の整備が必要である。「人口減少対策」や「若者の定住促進」を掛け声だけに終わらせないためにも、若者が魅力を持って働ける質の高い雇用の場を確保することが不可欠である。若者の働く場所を確保するため、鴨島東中学校跡地に大企業の誘致を最優先の選択肢として検討すべきだと思うが、市の認識は。

答

現時点において、体育館などを引き続き学校施設として活用することを予定しているが、具体的な活用方針は決まっていないため、教育委員会、地域の皆様に跡地利用に関するアンケートを実施する。深刻な人口減少を食い止めるため

には、「税収」と「雇用」を生む産業拠点の整備が重要であるという認識を強く持っており、多くの市民にとって真に価値のある跡地の利活用となるよう検討していく。

問

鴨島東中学校跡地は、交通の利便性も高く、大企業にとっても魅力的な候補地である。市長自らが先頭に立って企業を呼び込む「トップセールス」を展開する決意があるか。

答

本市の総合戦略においても、企業誘致戦略の策定を掲げており、鴨島東中学校の跡地利用も含め、企業誘致は本市にとって重要な課題である。本市の魅力を広く発信し、企業関係者の方々に直接お会いして情報提供を行うなど、私自身が先頭に立って、より積極的に行動し、企業誘致を推進していく。



【その他の質問】

問

公共施設の老朽化を踏まえ、適正配置とスリム化を早急に実施しては。

答

令和2年度策定の「公共施設等個別施設計画」において、市内107の集会施設などを32施設に再編するプランを示したが、本市の厳しい財政状況を踏まえ、長寿命化改修などの施設整備を令和11年度まで保留し、改めて再編プランを含めた本市の施設整備などのあり方について再検討する。

問

全職員の「防災士資格取得」を市の目標として掲げる考えは。

答

令和元年度から職員研修の一環として、計画的に養成を進めており、現在、正規職員400名中、39名が防災士資格を取得している。本市としても全職員の防災士資格取得を目指している。

問

学校給食の残食量の推移と残食の理由は。

答

令和6年度と令和7年度の食品廃棄物発生量を比較すると、年間一人あたりの食べ残しと調理残渣の合計が1.1kg減少している。給食を残してしまふ理由の上位は、①嫌いな物が出る49.3% ②時間がない27.0% ③量が多い15.0%である。



市内小学校
児童の給食時間の様子

問

桜などの樹木倒木の原因でもあるクビアカツヤカミキリの現状把握と監視体制は。

答

現時点では、本市での発見報告はないが、県北部で被害が拡大している。クビアカツヤカミキリの特徴や発見時の対処方法および報告先は、広報よしのがわや市ホームページを通じて周知を図っていく。

岸田 益雄
きしだ ますお
薫風会



問

統合する鴨島中学校の教育環境は

答

生徒一人一人に寄り添った教育活動の実現に向け、誠心誠意取り組んでいく

問

令和9年4月に鴨島第一中学校と鴨島東中学校が統合し、鴨島中学校が誕生する。

新しい制服や体操服が決まりスクールバスの検討などが進んでいるが、統合後の教育環境について伺う。①統合後の学年ごとの学級編成は。②「中一ギャップ」や進学を控えた3年生への対応は。③特別支援の必要な生徒や不登校生徒に対するSSRなどの対応は。④思春期の生徒への生徒指導教員の配置は。⑤県教育委員会への要望活動は。

答

鴨島中学校の令和9年度の学級数は各学年とも通常学級が4学級となる見込みである。令和20年度においても各学年とも3学級を維持できる見込みとなっている。

「中一ギャップ」への対応や丁寧な進路指導など、きめ細やかな対応を実現しやすい教育環境の確保に向け、充実した学級編成ができる教職員の配置を具

教育委員会へ強く要望する。

統合に伴い、環境や人間関係が大きく変化することから、生徒が安心して学校生活を送る体制づくりは最優先の課題であり、指導力が高く、関係機関との連携も担うことのできる教職員の配置やSSR担当を含めた加配教員などの配置を県教育委員会に継続して要望するなど、支援体制の充実を図る。生徒指導や教育相談を含めたきめ細やかな対応に努めつつ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門職と連携し、生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを進める。

学校の実態や統合に伴う課題を具体的に示しながら、県教育委員会との協議を重ね、必要な支援の確保に努める。統合は本市教育の未来を見据えた新たな教育へのスタートであると考

教育活動を実現し、安心安全を確保した開校に向け、誠心誠意取り組む。

【その他の質問】

問

令和7年度一般会計の決算見込みは。

答

普通建設事業費が大幅に減少し、市税やふるさと納税の増収などで単年度収支は3年ぶりに黒字になる見込みである。

問

阿北火葬場管理組合を脱退し、吉野川市斎場へ一本化する方針とした理由は。

答

過去10年間の実績をもとに、施設の受け入れ能力・財政効果を検討した。二重行政を解消し、運営の効率化と財政の健全化を図るとともに、質の高い火葬業務の提供を目指したい。

問

吉野川医療センターへの財政支援は。

答

同じ救急医療圏に属する阿波市と協議し、支援内容を調査・研究する。

問

今年のMt.高越ヒルクライムレース開催による効果は。

答

JBCFシリーズレースに登録され、日本各地から選手が訪れるので、本市の知名度向上や魅力発信につながる。大会を通じて地域振興や経済効果の創出、交通安全啓発を図れるよう、万全の体制で運営する。

問

道路損傷通報システムについて本市の状況は。

答

道路緊急ダイヤルを活用しており、広報誌などを活用して市民の皆様へ周知を図り、道路環境の整備に努める。

問

下水道管の点検結果は。

答

出水時期が終了したのち、損傷箇所の対策工事に着手できるよう準備を進める。



近久 寛
ちか ひろし
芳藍麻植会

問

関係人口の拡大のため「ふるさと住民登録制度」をどう活用するのか

答

「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」への追加を含めた統合的な検討をする

問

「ふるさと住民登録制度」は住民票異動を伴わず地域と継続的に関わる仕組みとして、今年度中にシステムの運用が開始される予定である。

本市において、人口減少や耕作放棄地、空き家増加など喫緊の課題が山積している状況を踏まえ、本制度をどのように活用し、関係人口の増加を図るのか。また、外部人材の力を活かせる分野は多岐にわたるが、「プレミアム登録者」をどのような分野で地域の担い手として受け入れる想定なのか、イメージや検討状況は。

答

この制度は、専用アプリからふるさと住民の登録を行い、イベントや農業支援、観光振興など様々な情報提供や交流活動を通じた地域への貢献を想定したもので、登録にはベーシックとプレミアムの2つの型がある。本市でも様々な分野での担い手不足の解消や関係

人口拡大、移住・定住促進の有効な手段であるが、現時点では明確な方針は定めていない。現在、国が制度構築中であるため、モデル自治体や国の動向を注視しつつ、市の実情に合う活用方法を調査・研究する。



問

人口減少、耕作放棄地、空き家の増加は本市の存続基盤を揺るがす事態であり、制度は単なる関係人口拡大策ではなく、担い手の確保や地域資源の再生を図る戦略的政策ツールⅡ中核施策と位置づけるべき

と考える。農業・商工業・教育・生涯学習・市民生活などの部局横断で実効性ある体制の構築について市長の方針は。

答

人口減少や耕作放棄地、空き家の増加などは地域の持続可能性に関わる重要課題であり、この制度は地域課題解決と持続可能性向上を図る新たな枠組みである。発展途上の制度であるため、国の動向を見極める必要があるが、「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」への追加を含めた統合的な検討を行い、本市と縁のある北海道仁木町との相互交流での活用など早期参入に向けた準備を進める。

【その他の質問】

問

FC徳島との連携の具体的な成果と整骨院不正請求問題への市の対応は。

答

小学生対象のサッカー巡回指導や地域の清掃活

動、イベント参加による地域貢献など様々な取り組みを通じ、市民との信頼関係を構築してきた。

不正請求問題については、遺憾の意を伝えるとともに、自浄作用による適切な問題解決を促した。FC徳島からは、この問題について報告を受けたが、さらに改善状況を見極める必要があると判断し、企業版ふるさと納税を活用した財政支援を見合わせている。





やま がわ さ や か
山側 紗矢香

答

問

避難所における女性や子どもの安全確保の観点から、防犯用品を備蓄する考えは

防犯用品の備蓄を検討し、必要な対応を進める

問

大規模災害発生時に、避難所や被災地において女性や子どもが被害に遭う事例の報告がある。夜間の見通しが悪い場所やトイレ周辺だけではなく、さまざまな場面で発生していると考えられている。

本来、避難所は市民の命と生活を守る場所でなければならない。しかし現実には、弱い立場にある女性や子どもが声を上げられず、被害が表面化しないまま終わってしまうケースもあると言われている。

本市が地域防災計画に掲げる「防災備蓄の充実」や「防災教育の推進」の観点から、女性や子どもの安全を守るための防犯ブザーなどの防犯用品を備蓄する考えは。

答

命を守るための衣食住の確保を最優先とし、食料・飲料水・寝具や資機材を中心に備蓄しており、現状では、防犯ブザーなどの防犯用品は備蓄品に含まれていない。本市の「避難所運営マニュアル」では、防犯ブザーなどの携帯を推奨することと明記しており、避難所において女性や子どもの安全を確保する観点から、「安心」を提供するための物品

問

は重要であると認識している。今後、防犯用品の備蓄についても必要な対応を進める。

また、女性や子どもの安全確保に関する教育についても、防災女性チーム「チームレインボーSAAーよしのがわ」と連携し啓発活動に取り組んでいる。

【その他の質問】

問

「こどもDoまんなか会議」の位置付けは。高校生だけでなく、小中学生を対象とした模擬議会を開催する考えは。

答

こどもDoまんなか会議は主催者教育の推進につながる取り組みとしている。中学生議会は、地域の未来を担う当事者意識を育む有意義な取り組みであり、教育効果などを踏まえ、開催を検討する。

問

アピアランスケア助成制度創設に向けた進捗状況は。

答

外見ケアで特に重要とされる補正具を対象に調査しており、県補助金により一部財源の確保も見込まれることから、具体的な助成制度案を早期にまとめたい。



くわ はら いつ お
原 五男

答

問

実現に向け取り組む

入学祝い金制度の導入は

問

本市は「住みやすい、子育てしやすい街」を掲げ、人口流出防止や転入促進に努力を重ねているが、直接的な負担軽減策において、近隣市町村に後れをとっている。

入学時は、制服や学用品など多額の初期費用がかかり、子育て世代にとって大きな負担となる。子育て世代に選ばれる街としては、経済的負担軽減は最優先課題の一つであるが、他自治体との支援格差をどう考えるのか。本市独自の制度設計に向けた検討状況は。

答

子育て支援については、少子化が進行する中、将来を担う子どもたちを地域全体で支えることが重要な施策であると認識している。特に、物価高騰が続く現状において、子育て世帯を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、経済的負担の軽減は喫緊の課題である。

本市では、保育環境の充実、医療費助成、各種相談体制の整備など子育て世帯への多角的な支援に積極的に取り組んでいる。入学祝い金については、今後の検討課題とし、子育て世帯が、より安心して暮らせる環

境の実現に向け、取り組んでいく。

【その他の質問】

ふるさと納税ポータルサイト運営事業者に支払う手数料は。令和7年度は1171万7494円である。

答

問

地域通貨の導入は。

答

市内事業者の意向確認を行うためアンケート調査を実施している。

問

中学校統合の進捗状況は。

答

校歌の制作、校訓や教育目標の設定、生徒会やPTA組織の調整に取りかかっている。

問

学校体育館へのエアコン整備の状況は。

答

市内すべての小中学校体育館に順次整備する。

問

偽メールの被害にあわなための対策と啓発は。

答

市ホームページや広報よしのがわで注意喚起する。



と い で と し お
戸出 敏夫

問

答

学校の部活動などにおける移動中の事故防止対策は

教職員が同乗し、児童生徒の安全管理を最優先する

問

5月に、新潟県の高校のテニス部員を乗せたマイクロバスが遠征先へ向かう途中で事故を起こし、生徒が尊い命を失うという痛ましい事故が発生した。本市において、部活動などにおける移動中の事故防止対策について、安全確保のための基本的なルールや指導体制は。

答

県が示している「安全確認画から当日の安全確認まで留意すべき点」が詳細に示されており、これを市内小中学校で活用することで、安全管理や危機管理に努めている。特に、長距離移動時の安全配慮については、適切な休憩時間を確保するとともに、無理のない行程を計画し、生徒および引率者の負担軽減に努めている。貸切バスなどを移動手段として利用する際には、必ず教職員が同乗し、移動中の生徒の安全指導や健康状態の把握、万一の事故発生時における迅速かつ組織的な初期対応を確実に行うようにしている。

【その他の質問】

問

農業後継者不足による離農が進み、地域農業の維持そのものが難しくなりつつある。本市における現状認識と新規就農者への支援は。また、農業所得の向上に向けての取り組みは。

答

高齢化や後継者不足は、食料自給率の低下や荒廃農地の発生などにつながる喫緊の課題である。新規就農者への支援は、育成と定着を図るため、「経営開始資金」と「経営発展支援事業」の二つの取り組みを進めている。農業所得の向上については、効率的で収益性の高い農業経営の実現が不可欠であるため、経営力向上セミナーやスマート農業技術の普及、若手や女性農業者への支援などを通じ、地域農業の改善を目指している。

問

人口減少対策として、出産祝い金の増額は。

答

過去に見直した経緯があるため、現状では増額することは検討していない。



あ い は ら か ず な が
相原 一永

問

答

「母子専用避難所」など専用機能を持つ場を設置する方針は

指定避難所内での間仕切りや配置などの運用を通じた環境整備を進めていく

問

能登半島地震では、「母子専用避難所」が有効であったと報告されているが、本市の地域防災計画では、妊産婦・乳幼児は「要配慮者」として一括りにされており、具体的な運用基準が明確でない。

本市の地域防災計画に「母子専用避難所」など母子スペースの設置基準を明記する方針は。

また、助産師や保健師との連携体制やミルク・紙おむつなどの備蓄基準をどのように整備するのか。

答

現計画では独立した「母子専用避難所」は想定しておらず、指定避難所内にて間仕切りなどにより母子専用スペースを確保する運用方針としている。

設置基準については、他自治体の先進事例を調査し、本市の実情に応じて見直しを検討する。

災害時の専門的なケアに保健師などとの連携は重要であることから、平時から関係機関との連携を進める。備蓄については、県の備蓄方針に基づき必要量を確保している。

問

「母子専用避難所」や専用機能を持つ避難所を設置する方

向で検討するのか。母子専用スペースの広さ・設備・配置場所など、避難所ごとの共通基準を本市の地域防災計画に明記する考えは。

「母子専用避難所」の設置に向けては先進地の事例など調査・研究を進める。

基準整備については、国のガイドラインなどを踏まえ、マニュアルの見直しを含めた検討をする。

【その他の質問】

問

退院支援を行政がコーディネートする必要性は。

答

退院支援は、各医療機関が主導で実施しており、継続的に推進することが重要と考えている。

問

英語教育の充実について、CEFR A1レベル到達率を引き上げるための取り組みは。

答

「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能を往還しながら英語を使う授業づくりをICT機器を効果的に活用しつつ推進していく。また、ドリルアプリも活用した反復学習により、「できた」の成功体験を重ね、自信や意欲の向上につなげる。

令和8年6月議会定例会 個人質問



塩田 智子

答

問

子ども性暴力防止法について、放課後児童クラブの「認定」に対する助成は国に対して義務対象となるよう要望していく

子どもたちを性暴力から守るため、子ども性暴力防止法が令和8年12月25日に施行され、学校やこども園などで働く方に性犯罪歴がないかの確認が義務化される。子どもたちの安全や保護者の安心に直結するこの法律の趣旨や概要について、関係機関への周知や研修状況は。

また、職員採用時の性犯罪歴の確認状況と放課後児童クラブがこの制度の対象となるための「認定」を受ける際の助成は。

各学校において、これまで子どもの人権尊重や性暴力および不祥事防止に関する研修やコンプライアンス研修などを校内研修計画に位置づけ、継続的に取り組んでいる。特に「性犯罪・性暴力などの根絶」や「不適切な指導・体罰の根絶」については、今年度の県コンプライアンス推進計画の重点取組事項にも掲げられており、児童生徒との適切な関わり方、児童虐待への対応などに関する研修も計画的に行っている。

職員採用時の確認状況について、教育委員会では履歴書や個人面接などにより判断しているが、性犯罪前

科などの照会を行えるよう準備を進めている。

こども性暴力防止法の施行を見据え、関係者に性暴力防止の意識や対応力向上を図るため研修や情報提供を徹底している。

また、こども園では性犯罪歴の確認について、会計年度任用職員の保育士採用時に、こども家庭庁の「保育士登録取消者管理システム」に照会している。

放課後児童クラブが認定を受けられるよう支援を検討するとともに、こども園などと同様に義務化の対象となるよう国に要望していく。

【その他の質問】

5歳児健康診査の開始に向け人材確保や実施方式の検討は。

本市の実情に応じた方式などについて検討していきたい。



議会を傍聴してみませんか

市議会では、生活に直結した重要な議案が審議されています。市政を身近に感じるためにも議会を傍聴してみませんか。議場内に設けられている傍聴席に座席が36席あり、車椅子スペースもあります。

次の定例会は9月の予定です。

【傍聴】どなたでも傍聴できますので、当日、吉野川市役所本館4階の議会事務局窓口で傍聴受付をしてください。※各定例会の日程は「吉野川市議会」ホームページをご確認ください。



6月議会定例会に鴨島小学校6年生と西麻植小学校6年生が傍聴に来てくれました。

議会のつぎき(3月～5月)

3月

16日 徳島中央広域連合議会定例会

26日 埼玉県鴻巣市議会行政視察

来庁

4月

6日 広報特別委員会

7日 徳島市議会正・副議長来庁

15日 第172回徳島県市議会

議長会定期総会

16日 会派代表者会

5月

11日 第88回四国市議会議長会定

期総会

19日 会派代表者会

27日 全国市議会議長会第102回

定期総会



令和7年度会派行政視察報告(政務活動費内訳)

期 間	令和7年8月19日～20日			旅費・研修費	真誠会	45,833円
					日本共産党	15,277円
視察先・目的	滋賀県守山市	守山市役所	自治会を支援する取り組みについて			
	兵庫県明石市	パピオスあかし	中高生世代交流施設AKASHIユーススペースについて			
会派(視察者)	【真誠会】田村修司、谷田憲二、衆原五男 【日本共産党】岡田光男					

期 間	令和7年8月19日～20日			旅費・研修費	吉野川政友会いろは	255,705円
					芳藍麻植会	85,235円
視察先・目的	東京都新宿区	リファレンス西新宿大京ビル	学校統廃合と公共施設問題について			
	東京都千代田区霞ヶ関	文部科学省	不登校児童への各種支援事業について			
		農林水産省	備蓄米の経緯について			
		内閣府	ジェンダーギャップについて			
会派(視察者)	【吉野川政友会いろは】福岡 正、中西 渉、戸出敏夫 【芳藍麻植会】近久 寛					

期	間	令和7年11月11日～12日		旅費・研修費	薫風会	46,069円
視察先・目的	愛媛県新居浜市	ワクリエ新居浜	廃校舎の利活用(新居浜市生涯活躍のまち拠点施設ワクリエ新居浜)について			
	広島県府中市	府中学園	施設一体型義務教育学校について			
会派(視察者)	【薫風会】細井英輔、枝澤幹太、岸田益雄					

期 間	令和7年11月17日～19日			旅費・研修費	吉野川政友会いろは	381,629円
					芳藍麻植会	95,407円
					立憲民主党	95,407円
視察先・目的	北海道岩内郡岩内町	岩内町役場	人口ビジョン・総合戦略について			
	北海道余市郡仁木町	仁木町役場	CO2削減に向けた自治体レベルでの取り組みについて 高齢者や観光客の移動を支える巡回バスについて			
会派(視察者)	【吉野川政友会いろは】福岡 正、阿佐勝彦、中西 渉、戸出敏夫 【芳藍麻植会】近久 寛 【立憲民主党】山側紗矢香					

期 間	令和8年3月25日			旅費・研修費	吉野川政友会いろは	219,840円
視察先・目的	東京都千代田区	衆議院第一議員会館	6次産業化の支援制度について みどりの食料システム戦略の実現に向けて			
会派(視察者)	【吉野川政友会いろは】福岡 正、中西 渉、戸出敏夫					

期	間	令和8年3月26日～27日		旅費・研修費	薫風会	214,205円
視察先・目的	東京都		SNS対策勉強会セミナー			
	東京都千代田区霞ヶ関	厚生労働省	おたふく風邪ワクチンについて			
		国土交通省	河川整備について			
会派(視察者)	【薫風会】細井英輔、塩田智子、枝澤幹太、岸田益雄					

期 間	令和8年3月13日		旅費・研修費	芳藍麻植会	108,880円
視察先・目的	東京都千代田区霞ヶ関	総務省	ふるさと納税について		
会派(視察者)	【芳藍麻植会】近久 寛、藤原一正				

令和7年度政務活動費収支報告

政務活動費は、議会の審議能力を強化するために、議員の調査・研究、その他の活動に対して交付されるものです。

法の趣旨に基づき、本市では「吉野川市議会政務活動費の交付に関する条例」を制定し、会派に対し政務活動費（月2万5,000円×所属議員数）を交付しています。残額が生じた場合は、市に返還することとなっています。

各会派ごとの収支報告内訳書は、市議会ホームページでも公開しています。



市議会ホームページ
二次元コード

収支報告集計表

【交付対象期間】令和7年4月～令和8年3月（単位：円）

会派名	所属議員	交付額	調査研究費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	会議費	支出合計
吉野川政友会いろは	4	1,200,000		857,966	71,468	194,296	0	0	1,123,730
薫風会	4	1,000,000		260,274	35,139	9,790	0	0	305,203
真誠会	4	975,000		45,833	42,874	45,142	0	0	133,849
芳藍麻植会	2	500,000		290,094	28,244	0	0	0	318,338
公明党	1	250,000		0	8,622	0	0	0	8,622
日本共産党	1	250,000		15,277	15,172	0	0	0	30,449
立憲民主党	1	250,000		95,407	20,155	0	0	0	115,562
小計		4,425,000	0	1,564,851	221,674	249,228	0	0	2,035,753

※令和7年5月28日に任期満了であったことから、令和7年4月、5月分は請求・交付されていません。

支出項目の説明

政務活動費を充てることができる経費の範囲は、条例別表の定める調査研究に要する経費となっています。

調査研究費	会派が研究会、研修会を開催するために必要な経費または会派に属する議員が他の団体の開催する研究会、研修会に参加するために要する経費
調査旅費	会派の行う調査研究活動のために必要な先進地調査または現地調査に要する経費であって、「吉野川市議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例」の基準を超えないもの
資料作成費	会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派の行う調査研究活動のために必要な図書、資料などの購入に要する経費
広報費	会派の調査研究活動、議会活動および市の施策について住民に報告し、広報するために要する経費
会議費	会派が地域住民の市政に関する要望、意見を吸収するために行う会議および会派の政策などを審議するために行う会議に要する経費

旬感 よしのがわ

6月議会定例会の傍聴に訪れた鴨島小学校、西麻植小学校の皆さんから、素敵な感想をいただきました。

「市役所に市議会の場所があることに驚いた。」
「自分たちの暮らしを良くするために話し合ってくれていることがよく分かった。」

「大人になったら、吉野川市を支えていける人になりたい。」

児童の皆さんの率直な言葉から、議会が市民にとって身近な存在であること、自分たちの暮らしすまちへの関心が育まれていることを感じました。

未来を担う子どもたちが、市政や議会に関心を持ち、「自分たちのまち」について考えるきっかけになれば、これほど嬉しいことはありません。こうした出合いを大切にしながら、開かれた議会を目指していきます。

ちょうど今の季節、ひまわりが青空に向かって大きく花開き、風に揺れながら輝いています。子どもたちの笑顔のように。



クイズ

□に当てはまる言葉は何でしょう。



？ キッチン(吉野川市) ひらがなも可

2024年(令和6年)に市制20周年・板野町町制70周年を記念して、共同制作された映画「道草キッチン」。都会から吉野川市へ移住を決めた主人公と地域の交流が描かれています。ロケ地を巡る「ロケ地マップ」も公開されています。一度、足を運んでみませんか。

● 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市の特産品を進呈します。議会事務局まで受け取りにお越しください。

● 応募方法 はがき、またはFAXでクイズの答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、吉野川市議会事務局までお送りください。応募の際に議会だよりについての感想や、「チョット」と一言添えてみませんか。

● 応募先 〒776-8611 吉野川市議会事務局

TEL(0883)22-2241

FAX(0883)22-2242

● 締切日 令和8年9月30日(消印有効)

チョット一言

★毎年6月最終の土曜日、鴨島の駅がにぎやかで楽しみにしています。

★祖母が五九郎首頭を踊るので見に行きました。雨が心配でしたが、降らなくて良かったです。

(前回の解答) 「五九郎」

あしがき

暑い日が続いておりますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

私自身、市議会議員として二年目を迎えました。地域を回る中で、子育てのこと、教育のこと、防災のこと、高齢者福祉のことなど、多くの声をお聴かせいただいております。皆さまからいただく一つ一つの声、市政を考える上で大切な原動力となっています。

さて、近年は全国各地で豪雨災害や地震が相次いで発生しており、本市においても南海トラフ巨大地震への備えが大きな課題となっています。災害はいつ起こるか分かりません。だからこそ、日頃からの備えや地域でのつながりの大切さを改めて感じています。

また、今年も子どもたちの意見をまちづくりに活かす「こどもDoまんなか会議」など、未来を担う子どもたちの声に耳を傾ける取り組みも進められています。子どもたちが安心して育ち、夢や希望を持って暮らせるまちであることは、私たち大人の願いでもあります。

山側 紗矢香

【編集委員】

委員長 岡田 光男

副委員長 山側紗矢香

委員 岸田 益雄

阿佐 勝彦

栗原 五男

近久 寛